

第590回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

テレビ番組

「水曜見ナイト2時間スペシャルこれが新潟の日本一！ in 長岡花火」



平成 25 年 9 月 17 日

BSN新潟放送

第590回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成25年9月17日(火)午前11:00~

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 松川公敏
委員 渡辺隆
委員 佐々木広介
委員 齋藤俊太郎
委員 行形貴子

副委員長 相羽利子
委員 正道かほる
委員 古賀豊
委員 小島良子

委員側欠席者

委員 高井盛雄

放送事業者側出席者

社長 竹石松次
常務 水田義雄
報道制作局長 五十嵐幹史

専務 梅津雅之
営業局長 斉藤和利

説明員 報道制作局情報センター
ディレクター 内藤亜沙美
白岩嘉文

事務局

事務局長 小原弘志 (社長室長)
事務局員 増山由美子 (考査広報部長)

4. 議題

・審議番組

テレビ番組

「水曜見ナイト2時間スペシャルこれが新潟の日本一！ in 長岡花火」

放送日時 8月7日(水)19:00~20:51

5. 議事の概要

～番組審議委員の主な意見・質問～

長岡花火が、単なるお祭りの花火でなく、慰霊と復興を願うものであることが繰り返し伝えられていて良かった。

「日本一」が、数字で示されているものもあったがお客様の評価によるものもあるなど、「日本一」の根拠が曖昧だったように思う。

知らない「日本一」が紹介され、新しいものに出会えて得した気分になった。

長岡花火の良さを伝えるにはワイド感が必要だと思うので、少し離れて定点撮影した映像の方が良かったのではないかと。

花火の映像もきれいだったが、音がとてもきれいに録れていた。きれいであるがゆえにライブ感がなかった。ライブ感を強めた方が良かったのでは。

花火はその場で見る臨場感が良いのだと思うが、今回は収録であるからこそそのダイジェストで、良い場面をコンパクトに見ることができた。

震災復興祈願のフェニックスや長岡と会津の絆カツ井など、復興をモチーフにした構成の中で「ドレスで年商6億」の紹介部分は違和感があった。

長岡と会津の交流が取り上げられていたが、長岡と会津は戊辰戦争も含め昔からの歴史があるので、それだけでも番組になると思う。

長岡花火を見たいと思っていた人には、少し物足りない番組だったかもしれない。

花火をメインに「日本一」を散らすという番組構成は、制作者の中でも議論があったと思うが、貫きたいコンセプトがはっきりしていなかったように思う。

誰もが知っている「日本一」がフリップで示されたが、紹介されたのはそれ以外の日本一。その意外性がとても良かった。

～制作担当ディレクターから～

2時間ご覧いただき、貴重なご意見ありがとうございました。

「新潟の元気を伝え、元気を作る」をコンセプトに制作した。

番組構成は、スタッフで何度も会議を重ね「これが新潟の日本一」をメインに、長岡花火も見えていたという構成にした。タイトルでも示したつもりだったが、うまく伝わらなかったように思う。今回、新潟県民がどれだけ長岡花火を大切に思っているかを改めて知り、もっと花火を前面に出せばよかったかと感じている。

「日本一」は、今まであまり知られていないものや頑張っている人たちの情熱に光を当てたいと思い、このようなラインナップにした。

花火の映像については、広く全体を見せるかアップで見せるか迷った。個々の好みもあるのでバランスが難しいところ。さらに花火の裏側を掘り下げる取材をするなど、次の番組に繋げていきたい。

【文責・番組審議会事務局】